

# お み た 磯部の御神田

重要無形民俗文化財

## 【伊雑宮御田植祭 式次第】

毎年六月二十四日

八時十分頃

杵・田道人役は「七度半」の使いにたつ。

九時五十分頃

「式一番」を納める。

十時二十分頃

伊雑宮一ノ鳥居内に整列し、修夜をつける。

十時三十分頃

御止殿に参拝する。

修夜所にて神官より作長が早苗を授かる。

十時四十分頃

御料田に参進する。

十二時頃

御料田に参着する。

作長は左、右、中と早苗を奉下する。

早乙女、田道人らは苗代を二周半して早苗を取る。

竹取神事に出る裸男は御料田に入り、苗取りが済むのを待つ。

十二時二十分頃

「竹取りの神事」。

十二時三十分頃

「御田植の神事」。

小謡二番から九番が済むと中休みとなり、奉仕者は若布の引張倉で酒宴をする。

次いでおくわか、さいわかによる「刺鳥差」の舞。

続いて小謡十番から十八番で御田植が終わる。十二時頃終了。

十五時頃

「踊込み」。御料田から約一時間かけて伊雑宮一ノ鳥居まで練る。

十七時頃

役人一同一ノ鳥居内に整列し、太鼓、鼈の二人が

「千秋楽の仕舞」を行い、御田植祭はめでたく終了する。

『磯部の御神田』（磯部町教育委員会発行）より抜粋

当番地区により多少時間が異なる場合がございます。

磯部の御神田奉仕会